

- 1 事業期間 : R5～R12年度（8年間）
- 2 総事業費 : 220億円（R5試算）
- 3 改修工事 : R6～R12年度（予定）
- 4 実施手法

本庁舎の長寿命化に向けて、既存県有施設を仮移転先として活用し、効率的、合理的、経済的な改修を行う。

5 改修・移転の基本的な流れ

- (1) 改修対象となるフロアの執務室を、庁舎内または庁舎外の県有施設に仮移転する
- (2) 仮移転を行ったフロアの改修工事を行う
- (3) 改修工事完了後、仮移転先から本庁舎に戻る（本移転）
- (4) (1)～(3)の手順を繰り返し、各フロアの執務室の仮移転→改修工事→本移転を行う
- (5) 北棟から改修を行い、その後、南棟の改修を行う（北棟・南棟合わせて最長6年）

6 仮移転期間 : R8.1月～R12年度末（予定）

7 改修の具体例

項目	具体例
老朽化対応	防水工事、屋外建具・配管類、空調設備、消防設備の更新 等
法令・省エネ対応	照明器具のLED化、天井・エレベーターの落下防止
ユニバーサルデザイン*1	バリアフリー化、サインの多言語化、トイレ構成の見直しなど多様性への各種対応
執務環境改善	<ul style="list-style-type: none"> ・執務室のワンフロア化と執務スペースの平準化 ・デスク・書架など什器類の更新と統一化（ユニバーサルレイアウト*2への移行） ※DX化による業務・手続の効率化、ペーパーレス化に向けた取組みとの連動を図りながら進めていく。

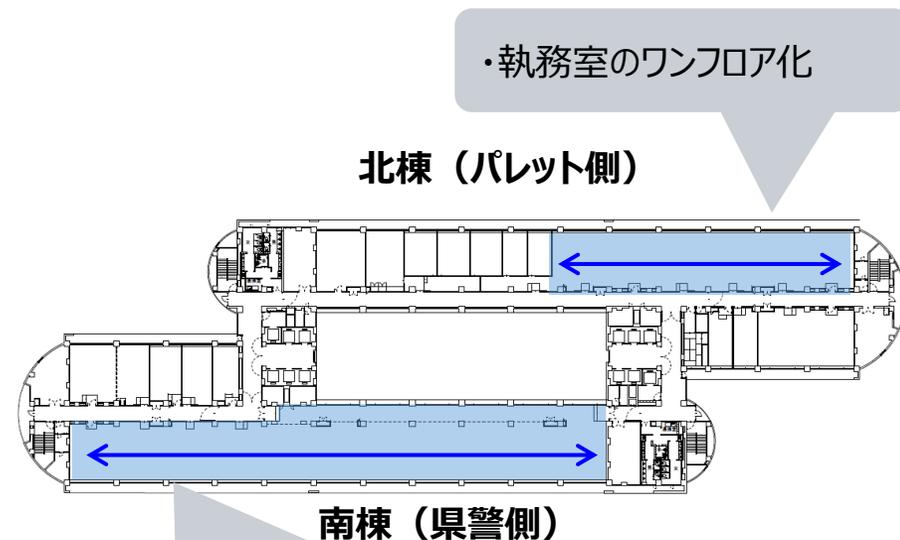
*1 ユニバーサルデザイン

障がいや国籍、性別などに関係なく、誰もが公平な立場で働けることを前提としたデザインで、車椅子利用者、性多様性に対応した施設づくり、ピクトグラムを活用し誰でも案内表示が理解できるよう視認性を高めることなどが挙げられる。

*2 ユニバーサルレイアウト

役職席を決めず横並びに配置し、デスクを横一列にするレイアウト。組織変更（人員の増減）に対応しやすい、オフィスのスペースを有効活用できる、テレワークなどの多様な働き方にも対応しやすいなどのメリットがある。

8 改修後のイメージ（基準階）



- ・執務室のワンフロア化
- ・執務スペースの拡充（廊下を一部執務室に変更*3）

*3 対象フロアは7階～13階